平成28年度 昭和薬科大学附属高等学校・中学校

後趨禽禽鶇

発行: 平成28年6月 後援会事務局(本校内) Ⅲ 098-870-1852

回平成28年度役員会開催一福福新会長就任回

昭和薬科大学附属高等学校・中学校後援会(以下「後援会」)は、 6月1日に校内食堂で午後7時から役員会を開催し、平成28年度の 役員・予算・活動計画などを審議しました。

役員改選では、平成7年の後援会創設以来20年間会長を勤めた比 嘉幹郎さんが退任して、稲福達也前校長が第2代会長に就任しまし た。役員人事では規約改正も行われ、比嘉幹郎さんが新設された名 誉会長職になり、副会長の人数を3名から若干名に改正して、新た に大学評議員を勤めている根路銘敦さん(附属2期生)が副会長に 就任しました。



〈稲福会長〉

役員会では、その他に「平成27年度会務報告及び決算」「監査報告」「平成28年度事業計画及び 予算案」が審議され、全会一致で承認されました。

—— 平成28年度後援会役員(所属)——

■名誉会長 比嘉幹郎 (PTAOB) ■会 長

■会 長 稲福達也 (職員OB)

■副 会 長 伊禮正直 (PTAOB)、新里守人 (同窓会長)、花城哲 (PTA会長) 根路銘敦 (同窓会)

■理 事 (PTAOB枠) 知念良和、新垣吉浩、小山師子、本成悦子、渡慶次実、宮城寛清、 新城伸子、喜納兼次郎、高江洲和男、眞榮田明美、 当山恵子、作田利和/



(PTA枠) 渡久地若江、大田俊治、上原桂子/ (同窓会枠) 吉田正、又吉まゆみ、又吉教彦、 新城正志

(賛助会員) 玉木英恒 (職員OB)

■**監** 事 赤嶺秀男 (PTAOB) 、 知念拡 (職員OB)

■顧 問 比嘉定俊、安室肇 (元校長)

諸見里明 (現校長)

■事務局 事務局長:北川隆(同窓会)

幹事:新垣志信・大田一夫(教頭)



今年で21年目に入ります



■1995年(平成7年)後援会発足

1993年(平成5年)は高校創立20周年でしたが、高校同 窓会が記念事業として多目的スペースと宿泊施設の機能を併 せ持つ「同窓会館」を建設する計画を立て活動を開始しまし た。この計画にPTAと卒業生父母が賛同し、「高校同窓会」 「PTA」「卒業生父母の会」の三者により「創立20周年 記念会館建設期成会(比嘉幹郎会長)」が結成され、演劇公 演やゴルフ大会などを開催し、本格的に募金活動が展開され ました。

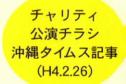
1995年(平成7年)2月、創立20周年記念会館(総面積 364㎡、総工費約5千万円)が落成して学校へ寄贈されまし た。目標を達成した「建設期成会」は、引き続き「学校の教

育目標達成に必要な支援・協力を行うため (会則第3条)」に「昭和薬科大学附属高等学校・中 学校後援会」として再編・発足し、今年で21年目を迎えました。





記念会館建設に尽力した 比嘉名誉会長(右)稲福会長(中央) 根路銘副会長(左)。 当時はそれぞれPTA会長、教頭 同窓会長。





■本格的に事業開始- 奨学事業と特別活動援助事業

左記のように1995年に再編・発足した後援 会では、奨学事業を行うことを大きな目標の ひとつに掲げて資金造成を進めていましたが、 2002年(平成14年)に奨学金制度を創設し ました。

年額36万円を3年間貸与し、本校卒業5 年後から5年間で返済する内容ですが(対象 は原則年2人まで、予算の範囲内で人数は増 減)、昨年までに計13名の生徒が利用してい ます。

義務教育は無償であることが建前ですから、 中学生を対象とした公的な奨学金制度はあり ません。その点で後援会の奨学金制度は、中 学生も対象にしていますから、中学では後援 会を利用して、高校では公的な制度に切り替 えて奨学制度を利用することもできます。

年度	奨学金新規貸与	特別活動援助額
2002	なし	27名 270,000円
2003	なし	32名 320,000円
2004	中 2	24名 240,000円
2005	中 3	25名 250,000円
2006	中1、中2、高3	32名 320,000円
2007	中2、中3	52名 520,000円
2008	なし	71名 710,000円
2009	中 2	84名 420,000円
2010	なし	60名 360,000円
2011	なし	59名 295,000円
2012	中1、中1	64名 320,000円
2013	なし	36名 180,000円
2014	中1、中2、中3	16名 80,000円
2015	なし	28名 140,000円
累計	13名	610名 4,425,000円

奨学金に関する規程は、学校のホームページの後援会のページにありますから、それを見て下 さい。申し込みは、学級担任を通して教頭に相談して下さい。

後援会では、2002年から特別活動援助事業もスタートしました。これは、生徒が特別活動で沖 縄県代表になって県外に派遣されるときに、援助金を交付するものです。上掲の右表を見れば、 昨年までに610名の生徒に支給されています(総額4,425,000円)。ちなみに援助額は、当初1人 1万円でしたが、県外に派遣される生徒が増えた2009年からは、1人5千円になりました。

平成27年度特別活動援助対象

中学ディベート部6名

- ⇒ 全国中学・高校ディベート甲子園 高校合唱部 1 2 名
- ⇒ NHK全国学校音楽コンクール九州 ブロック大会

吹奏楽部 9名

- ⇒ 第39回全九州高等学校音楽コンクール
- ⇒ 第41回九州アンサンブルコンテスト

科学部 1名

⇒ 平成27 年度九州高等学校生徒理科 研究発表大会



特別活動援助交付式



■その他の活動- 周年事業などへの協力

学校では、周年事業が10年ごとに行われています。後援会は、高校創立20周年式典を契機として結成されましたが、後援会はその後の周年事業でも学校へ協力してきました。高校30周年記念事業では後援会を中心にして期成会が組織され、3千万円の募金目標を達成しました。また、高校40周年では、学校が記念事業としてスクールバス2台を買い換えるなどのために3500万円の募

金目標をたてましたが、後援会はその支援を行い、学校は記念事業を達成しました。

附属高校同窓会では、これまで学校が行う周年 事業の中間の時期に「同窓会総会」を実施することが恒例になっています。従って、2018年には 附属高校同窓会が行われることになると考えられ ますが、後援会はPTAや同窓会と連携しながら、 今後も周年事業などに協力して行きたいと思いま す。



〈平成20年後援会寄贈のワンボックスカー〉

[平成28年度後援会予算]

収入の部

項	目	科 目			予算額
1		入	会	金	1,200,000
2		寄	付	金	600,000
		(同窓会)			300,000
		(PTA)			300,000
3		奨学金返還			432,000
4		雑	収	入	1,000
5		繰	越	金	16,828,604
			計		19,061,604

支出の部

項	目	科目			予算額
1		運	営	費	233,000
2		事	業	費	18,500,000
	1	当年奨学事業			1,800,000
	2	奨学事業基金			15,900,000
	3	特別活動援助			500,000
	4	講	演	会	200,000
	5	涉	外	費	100,000
3		寄	付	金	0
4		予	備	費	328,604
	計				19,061,604

※収入の部・注

後援会の活動は、高校卒業時に卒業生保護者にお願いする賛助金としての入会金(1人1万円)と、構成組織のPTAと同窓会からの寄付金で行われています(PTAは毎年バザーを実施してその収益を後援会の寄付金にしています)。

※支出の部・注

後援会の活動として、奨学事業と特別活動 援助の外に生徒を対象とした講演会を実施し ています。

OUSTERS PALETO

学校のホームページに後援会のページ があります。後援会会則や奨学金規程、 予算・決算などの資料やこれまで発行さ れた『後援会報』などが掲載されていま す。後援会に関する詳細な情報は、ホー ムページをご覧下さい。